

丸い換気口と鉄製の外開戸の付いた窓



円形の換気塔が
4本見える。

ちなみに東側は
こんな感じ。
手前は駐車場に
利用されている。



旧津久井機料店金箔工場 本町二丁目屋台蔵

旧 津久井機料店金箔工場

(きゅうつくいきりょうてんかなおさこうじょう)

建築年:石蔵・大正9年(1920)

旧津久井機料店は、織機の箔を製造する工場として使われていました。初代津久井岩次郎は明治22年(1889)日本織物に勤務し、金箔技術を習得した後、明治35年(1902)伊澤機料店桐生支店として開業しました。その後、二代目津久井甚太郎が伊澤機料店に修行に行き、後を継ぎました。大正7年(1918)には完全に独立し、津久井機料店となり、大正9年(1920)に現在の工場を建築しました。

当時、フランス製とドイツ製の箔を編む機械(編箔機)を保有し、三代目津久井禄治に引き継がれ、昭和62年(1987)に廃業となりました。

